

第4回府中市都市計画審議会部会（都市計画マスタープラン策定委員会）
議事概要

○開催日

令和4年11月30日（水）10:00～11:40

○開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

○出席委員

岡辺重雄（会長）、加藤誠章、田中貴宏、梅林幾彦（Web参加）、古川信博

○議題

- ・府中市都市計画マスタープラン（素案）について
- ・今後のスケジュールについて

○議事概要

【委員】

論点3「中心市街地の賑わいと住宅団地及び集落市街地のあり方」について、前回の議論を踏まえて方向性を示していただき異論はありませんが、素案における具体的な記載場所を教えてください。

【事務局】

p4-23（第4章地域別構想の地区4都市計画区域外の集落市街地の（4）重点的施策）自然体験型観光の促進に記載している。

【委員】

参考資料①の計画の方向性に記載している、「観光資源（自然観光・キャンプ場等）や伝統文化等の地域固有の資源を活かし、観光振興を視野に入れた地域ブランディングを戦略的に進めることで、関係・交流人口の創出を図る。さらに関係・交流人口を波及させ、空き家・空き店舗等を活用した民泊やオフィス等の立地について推進し、地域コミュニティの活性化を図る。」という内容を本文中に反映してはどうか。

【事務局】

参考資料①の記載内容を本文中に反映することが望ましいと考えるため、反映する。

【会長】

地域住民に寄り添うことが重要であり、本地域にある種の機能性を加えることで、そこに住む方々を見捨てない、孤立感をなくすような施策を展開し、安心して楽しく暮らせる取組が本文中に記載されると望ましく思う。

【委員】

福祉や地域コミュニティの延長線上にキャンプ場の活用があるといった表現が望まれる。

【事務局】

キャンプ場を活用した地域の魅力創出の前に、地域住民との連携や魅力探し等、地域住民が主体となって活動を行っていきけるような内容についても記載する。

【会長】

地域活力が衰退しないような公的支援をすることについても記載いただきたい。キャンプ場を活かした、地元住民とのつながりが持てるような取組ができれば良いと思う。

【事務局】

本市では、地域協働によるまちづくりを目指しています。地域の方向性について地元住民と議論し、合意を得た上で、方向性を前段に記載することが望ましいと考えている。

【委員】

市民生活を支える住環境整備の方針にて、「ジェンダーに配慮した施設整備」と記載があるが、具体にはどのレベルの話をしているのか。また、この書きぶりではこれまで男女という社会上の性別にも配慮してこなかったとも捉えられる。

【事務局】

男女については配慮ができています。ここでは性別関係なく誰でも利用できるようなものを想定している。

【委員】

既に男女という2つのジェンダーへの配慮がされているということは理解した。性別関係なく誰でもということであれば、「多様なジェンダー」に配慮したという表現とするのが望ましい。「ジェンダー」は、社会上の性別のみを表し、必ずしも LGBTQ 等の意味を包含するとは限らない。

【会長】

ジェンダーに配慮したとあるが、ジェンダー以外への配慮はしないのかということにもなりかねない。

【事務局】

表現については、健康福祉部とも議論しているところ。表現には配慮すべきと考えている。

【委員】

第4章地域別構想について、重点的施策にナンバリングをし、地域づくり方針図で場所を示してはどうか。都市計画マスタープランは施策を空間的に表現することが望ましく、地区5など具体的な場所を可能な限り示すことができればより良くなる。

【事務局】

空間的な表現を工夫する。

【委員】

今回の改訂は単なる微修正でなく、これまでと大きく変わることを表現してはどうか。

【事務局】

前回計画のコンパクト+ネットワークの考え方を踏襲しているため、微修正のような記載になっているが、大きな転換期であることが分かるよう修正する。

【会長】

これまでの計画を踏まえた、次期計画の新機軸は何かを整理してはどうか。

【委員】

前回計画から何がどう変わったのかが分かるように整理されているとなお良い。

【委員】

南北道路の沿道土地利用の重要性を記載しているが、新たな道路整備は新たな付加価値を生み出すので、南北道路の整備には期待をしている。府中らしさを感じられる道路整備とあるが、「ものづくりのまち」ということが市外の方にも伝わるように、道路整備と沿道土地利用のコントロールをお願いする。

【委員】

地区5の重点的方針に「農地を活かした住環境の形成」とあるが表現として適切か。

【会長】

農業に関する記載について、地区4と農村地域（主に地区5）で書き分けとして何か差があるのか、方針として違いがあるのかが気になる。

【事務局】

農地を活かした住環境の形成」は主に「農業」を意識して記載している。地区5の農地は生業としてのウエイトが高く、地区4については土地があるが、なかなか生業として運用されていないという違いがあると考えている。

【事務局】

地区4では体験型観光、地区5では稼げる農業及び農業に関連した産業の誘致を推進して、今後も人が住み続けられるよう記載しているが、都市計画マスタープランでこのような記載は問題ないか。

【会長】

農政部局と合意が得られれば、問題はない。」地区5は今後の農業の担い手を育成していくことを期待する。また地区5では農作業を終えた若者にスポーツ施設を利用してもらおうといったビジョンまで描けるとなお良いと思う。

【委員】

図面に記載する凡例を統一することが望ましい。また、図面上にない凡例は削除する等の整理が必要。

【事務局】

指摘の箇所について修正する。

以上